

進行管理・実施状況評価の考え方

(1) 目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、令和3年3月に「第5次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ2040プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第5次計画は、令和3年度から令和6年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確認し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進する。

(2) 評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、町民窓口課（令和3年度から）において、その実施状況を取りまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第5次さむかわ男女共同参画プランで定める4つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1. 進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。

判定区分は下記のとおり。

→【目標の達成度】についての考え方

- A: 目標値に達している
B: 目標値に対し80%以上の実績値
C: 目標値に対し80%未満の実績値
D: 目標値に対し取り組むことができなかった

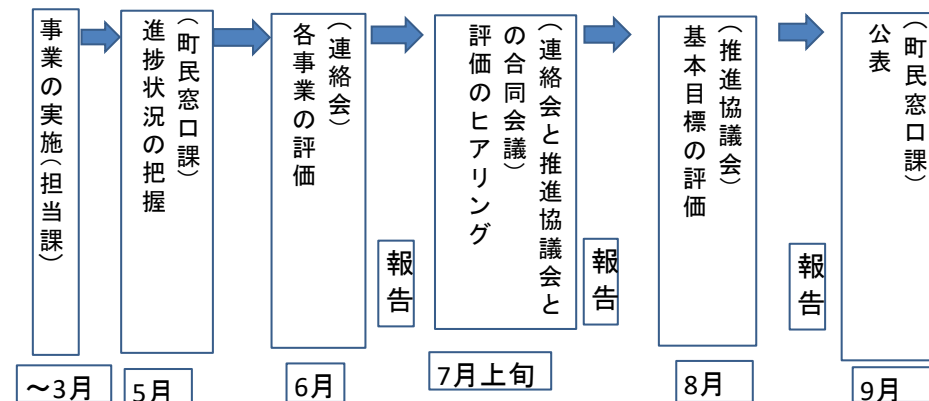
【目標の達成度】

- A: 目標達成
B: 概ね目標達成
C: 目標に向け事業が遅れている
D: 目標に向け事業がほとんど進んでいない

【今後の方向性】

1. 更に充実強化していく
2. 計画どおり取り組む
3. 一部見直しが必要
4. 事業の休止または廃止

進行管理・評価の流れ



<基本目標Ⅰ あらゆる分野での女性の活躍推進>

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進
 施策の内容(1) 事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
1	管理職への女性登用の推進						令和4年度末時点管理職数(7級・8級) 管理職数:58名 うち女性:13名(22.8%) 管理職の登用には能力と実績に基づき任用されることが基本だが、女性職員の比率は年度によりばらつきが大きい。これは、出産・子育て等により女性職員のキャリア断絶や離職が発生していることによるものであるが、ここ数年は新規採用職員における女性の割合も高くなってきているほか、女性職員のキャリア形成に関する研修を企画するなど、取組を進めている。	A	管理職への登用は、男女の区別なく総合評価による抜擢人事としていることから、女性職員のみを優遇することは難しいが、仕事と家庭の両立に向けた各種制度の整備・周知もあり、目標を達成したことから、標記の評価とした。	人事課
	事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合(%)	20	20	20	20		2		
			18	22						

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
2	勤労者実態調査の実施						/	/	/	産業振興課
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施し、その結果を事業所に周知します。	調査票の回収率(%)	/	/	40	/				
			-	-	-	-				

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の推進

施策の内容(2) 町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
3	女性委員登用の推進		26	28	30	32	<p>地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数 28 総委員数 337名 うち女性委員数 112名 女性委員比率 33.2%</p> <p>公募委員の選考に当たっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼するケースが多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。 前年度(令和3年度27%)より女性委員の割合が増えているが、次年度の目標値に向け、引き続き選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。</p>	A	前年度(令和3年度27%)より登用率が増加し、目標達成した。引き続き、各種審議会等を所管する担当課に対し、委員改選時には女性委員の登用についてご配慮いただくよう通知した。	町民窓口課
	町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員の登用率(%)	27	33	2					

施策の内容（3）住民活動などにおける女性の活躍促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
4	女性の活躍のための講座の開催		100	100	100	100	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①神奈川県・寒川町 男女共同参画推進市町村連携事業 男女共同参画特別講演会 「男女がともに輝くように」 日時：令和4年11月2日（水）～11月30日（水） YouTubeによる動画配信 参加者：141名（男性61名、女性79名、その他1名） 講師：鈴木 恵枝氏（株式会社マイキャリア・ラポ パートナー講師、株式会社マルシオン・アンサンブル代表取締役） 内容：講師からは、コミュニケーションの大切さを学びました。アサーションは、主張はしっかり行うものの、相手は傷つけないという絶妙なコミュニケーション方法です。家庭も職場もコミュニケーションで円滑に進み、男女がともにイキイキと暮らせる社会になるという内容でした。参加者の皆様のアンケートの結果からは、「大変分かりやすかった」「とても参考になった」等のご意見をいただき、自由記載欄には、ほとんどの方が有意義な機会だったと感想をいただいた。令和3年度から37名増（男性35名増、女性6名増）となった。特に男性の参加者が増加したことは男女共同参画社会の実現に一歩近づくことができたと感じた。</p>	A	<p>①②の出席者数の合が、188人であったため。</p> <p>男女共同参画白書（令和4年版）によると、コロナ下において、日本における男女共同参画が進んでいなかったことが改めて顕在化した。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、さまざまな政策や制度等が、依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままとなっていることが指摘されている。</p> <p>人生100年時代を迎え、日本の家族と人々の人生の姿が多様化し、昭和の時代から一変しているなかで、男女共同参画を進めるにあたっては、このことを念頭において、誰一人取り残さない社会の実現を目指すとともに、幅広い分野で制度・政策を点検し、見直していく必要がある、と報告されている。男女間の働き方等の慣行、人々の意識が依然として変わっていないなかで、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。</p>	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダー育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数（人）					135			

施策の基本的方向 2. 働きたい、働き続けたい女性の支援
 施策の内容 (1) 女性の人材育成の充実

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
5	女性の活躍のための講座の開催 (再掲)		100	100	100	100	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。 ①神奈川県・寒川町 男女共同参画推進市町村連携事業 男女共同参画特別講演会「男女がともに輝くように」 日時：令和4年11月2日(水)～11月30日(水) YouTubeによる動画配信 参加者：141名(男性61名、女性79名、その他1名) 講師：鈴木 恵枝氏(株式会社マイキャリア・ラボ パートナー講師、株式会社マルシオン・アンサンブル代表取締役) 内容：講師からは、コミュニケーションの大切さを学びました。アサーションは、主張はしっかり行うものの、相手は傷つけないという絶妙なコミュニケーション方法です。家庭も職場もコミュニケーションで円滑に進み、男女がともにイキイキと暮らせる社会になるという内容でした。参加者の皆様のアンケートの結果からは、「大変分かりやすかった」「とても参考になった」等のご意見をいただき、自由記載欄には、ほとんどの方が有意義な機会だったと感想をいただきました。令和3年度から37名増(男性35名増、女性6名増)となった。特に男性の参加者が増加したことは男女共同参画社会の実現に一つ近づくことができたと感じた。	A	①②の出席者数の合が、188人であったため。 男女共同参画白書(令和4年版)によると、コロナ下において、日本における男女共同参画が進んでいなかったことが改めて顕在化した。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、さまざまな政策や制度等が、依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままとなっていることが指摘されている。 人生100年時代を迎え、日本の家族と人々の人生の姿が多様化し、昭和の時代から一変しているなかで、男女共同参画を進めるにあたっては、このことを念頭において、誰一人取り残さない社会の実現を目指すとともに、幅広い分野で制度・政策を点検し、見直していく必要がある、と報告されている。男女間の働き方等の慣行、人々の意識が依然として変わっていないなかで、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)	135	188			②市1町広域連携事業 人権・男女共同参画講演会『性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり』 日時：令和5年2月2日(木)午後1時30分～午後3時 会場：藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室 参加者47名(内訳：藤沢市29名、茅ヶ崎市12名、寒川町1名、その他4名) 講師：星野 慎二氏(特定非営利活動法人 SHIP理事長) 内容：講師からは、LGBTQに関する説明や当事者の抱える悩みや課題、パートナーシップ宣誓制度などについて話をいただいた。講演会の参加者からは、「LGBTQの方の暮らしにくさを少しでも軽減する環境作りが大事だ」「LGBTQに関する誤解や思い込みがあることの気付きになった」などの意見があり、多様な性への理解の一助となった。	2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
6	就労支援講座の開催		3	3	3	3	<p>「神奈川県かながわ労働センター」より共催申請のあった「ワーキングマザー両立応援カウンセリング」を全10回行った。 対象者の相談実績人数：16人</p> <p>「湘南合同就職面接会」令和5年1月25日(水)開催。 参加企業数24社、求人件数48件、求人数83名、面接延数70人、採用者数5人、不採用者数45人、説明のみ20人</p> <p>その他、県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができた。</p> <p>今後も、各団体が実施する就労支援講座についても積極的に協力し、周知を図っていく必要がある。</p>	A	県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができたため。	産業振興課
	県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。	講座の開催回数(回)	3	3			2			

施策の内容（2）女性の積極的な社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和4年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
7	男女共同参画に関する講座の情報提供		4	4	4	4	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座について情報提供できた。	A	広報さむかわや町のホームページを活用し、講演会等の情報を広く集め提供することができたため。	町民窓口課
	町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	4	8			①2市1町人権・男女共同参画特別講演会 『性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり』 日時：令和5年2月2日(木)午後1時30分～午後3時 ②男女共同参画特別講演会「男女がともに輝くように」 日時：令和4年11月2日(水)～11月30日(水) YouTubeによる動画配信「社会が変わる、私も変わる、－ ○2市1町広域連携事業2件 ・共に生きるフォーラムふじさわ2022「誰のための『女性活躍』？」ほか			

施策の内容（2）女性の積極的な社会参画のための情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
8	求人に関する情報提供		30	30	30	30	<p>ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。</p> <p>・日時:令和5年1月25日(水)</p> <p>・場所:藤沢商工会館ミナパーク</p> <p>町単独での面接会の実施は難しいため、ハローワークや近隣市と連携及び町内での周知が必要。</p> <p>参加企業数24社、求人数48件、求人数83名、面接延数70人、採用者数5人、不採用者数45人、説明のみ20人</p> <p>参加事業者 ・藤沢市14社 ・茅ヶ崎市4社 ・鎌倉市4社 ・寒川町2社 総数24社</p> <p>参加求職者数 ・藤沢市17人 ・茅ヶ崎市12人 ・鎌倉市8人 ・寒川町3人 ・平塚市5人 ・横浜市2人 ・大和市3人 ・その他4人 総数54人(男43人・女11人)</p> <p>採用者5人 ・寒川町1人・平塚市1人・横浜市1人・茅ヶ崎市1人・藤沢市1人</p>	B	<p>コロナウイルスの影響もあり、密を避けるため、参加企業数を減らしての開催となったが、寒川町からの参加事業者が昨年の1社から2社へ増え、町内からの参加求職者から採用に結びついた方もいた。</p> <p>求人情報提供数30件の目標は変更せず、次年度も事業に継続して取り組む。</p>	産業振興課
	<p>役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。</p>	<p>湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数(社)</p>						16		

【基本目標Ⅰ】あらゆる分野での男女共同参画の推進

<各事業について>

○事業番号1: 管理職への女性登用の推進

・男女の区別なく総合評価による抜擢人事により女性管理職比率が目標を達成したことはとても評価できます。特に「初期キャリア形成期」における仕事や職場環境は、女性の将来のキャリア形成に大きく影響を与えているといわれていますので、引き続き、各段階に応じた研修を企画するなど取り組みを進めていただきたいと思います。

・女性職員のキャリア形成に関する研修企画するなどの取り組みを行っている事に関して好感を得ました。評価理由の記載に、女性職員のみを優遇することは難しいが、仕事と家庭の両立にむけた各種制度の整備・周知を目標にしていた事に関して好感を得ました。女性の方々に管理職に登用していくことは、今後大切かと思いますが、いきなりでは無く段階を経て管理職を推奨した方が私個人的にはよいかと思います。確かに男女比率で見ると大切かと思いますが、比率重視で管理職になってしまった方からのご意見を聞きますと、かなり本人に負担がかかっているように感じます。女性は、お仕事以外にもかなりの負担があることも踏まえて、比率重視にとらわれないで、仕事の能力、本人の意見を尊重し管理職への登用を推奨していただくと嬉しく思います。それには、キャリアアップ研修を含め、女性職員さんの意見交換をする場も設けていただくと嬉しいです。お仕事などで、管理職になられた方が笑顔でいて欲しいと思います。

○事業番号4・5: 女性の活躍のための講座の開催

・男女どちらも気にならないような色や表現の仕方を工夫したことにより多くの人々の興味、気を引くことができたのだと思った。

・女性の活躍推進について、他市と連携しながらその推進に努めていることは評価できる。今後もより多くの人にこのような事業を行っていることを広め男女共同参画進む手だてを講じていただきたい。

・町内の女性リーダーの育成も考えると、ソーシャルリーダークラス的な存在の講師を招いての講演会も考えられる。

・講座の参加対象を、女性に限らず男女にしたことで参加人数が大幅に増加したことは評価できます。女性活躍のためには周囲の理解や協力が必要です。性別に関わらず、誰もが自分らしくイキイキと暮らせる町を目指していただきたいと思います。

・男女共同参画特別講演会、講師の先生の講義議題が素晴らしく思いました。相手を傷つけないという絶妙なコミュニケーション方法です。家庭も職場もコミュニケーションで円滑に進み、男女がともにイキイキと暮らせる社会になる内容の講義に関して、私個人的にも参加したくなるような講義に感じました。参加者の方々のご意見は「有意義な時間」とあるように、とても活性化した講義だったのではないかと伺えます。参加増数に関しましても、女性の参加人数よりも男性参加者数が急増して点に関しては、大成功と思えました。男性、女性ともお互いを思いやるコミュニケーション能力を高めていければ嬉しく思います。

○事業番号6: 就労支援講座の開催

・育児をしながら働きたい、働く必要があるという家庭が増えている中、県という広い範囲で求職活動ができる講座は評価できる。

・求人件数に対し、不採用が多数の為、採用につながるサポートも続けてほしい。

・湘南合同就職面接会にて採用者数が5人であった要因はどこにあるのだろうか。働きたい人と雇いたい側の何かしらのギャップがあるのだとしたら、その分析と手だてが必要だと感じた。

・県や関係機関・団体と協力して講座等を開催する取組はとても重要だと思います。引き続き連携して取組んでいただきたいと思います。

○事業番号8: 求人に関する情報提供

・求人に関してはコロナの扱いも変わってきているので、働きたいと思う人も増えていくように感じた。

<総評について>

・あらゆる分野で女性が活躍するためには、様々な場面での「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」の払拭が必要です。引き続き、研修やセミナー等を通じ、意識啓発に努めていただきたいと思います。

・子育て中の女性も活躍するために参加しやすい取り組みを進めてほしい。

・目標が達成されているこのような状態で続けていただきたい。

・継続し、年数が経てばいずれ女性も増加し、有能なリーダーも現れると思います。

・各事業において、計画通り、目標達成に向け取り組まれていくことを望みます。

・女性が活躍できる場を多く増やしていこうとしています事が、事業内容から伺えます。参加人数も年々増えていることから、町民周知も増えているのではと思います。女性が、環境、能力ともにクリアできて、世の中に笑顔で活躍できる場をたくさん見れたら嬉しく思います。それには、数字比率にとらわれないで、能力だけではなく、女性の環境問題も考えたうえで推奨していただくと良いかと思えます。今後も、事業番号 5の講演会を増やしていただき沢山の町民の方に参加していただけたら幸いです。今後も継続事業をしていただけたら嬉しく思います。

【基本目標Ⅰ】
推進協議会評価（個別）

<p>【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 (事務局案)</p>	<p><各事業について> ○事業番号1: 管理職への女性登用の推進 男女の区別なく総合評価による抜擢人事により女性管理職比率が目標を達成したことはとても評価できる。特に「初期キャリア形成期」における仕事や職場環境は、女性の将来のキャリア形成に大きく影響を与えるため、引き続き、各段階に応じた研修を企画するなど取り組みを進めていただきたい。 また、数字だけではなく能力や本人の意思を尊重し管理職へ登用を進めていただきたい。 ○事業番号4・5: 女性の活躍のための講座の開催 講座の参加対象を、女性に限らず男女にしたことやチラシの色、表現の工夫をしたことで、参加人数が大幅に増加したことは評価できる。そして、女性活躍のためには周囲の理解や協力が必要である。今後もより多くの人にこのような事業の周知に努め、性別に関わらず、誰もが自分らしくイキイキと暮らせる町を目指していただきたい。講座の選定では、ソーシャルリーダーなどの経験者を講師として女性リーダーの育成についても検討していただきたい。 ○事業6: 就労支援講座の開催 現在は、育児をしながら働きたいという家庭が増えるなど、さまざまな理由から求職活動をしている方がいるため、県や関係機関・団体と協力して講座等を開催し、幅広く支援をするということは重要であり引き続き取り組んでいただきたい。今後の改善として、湘南合同面接会での不採用が多数という結果の原因の分析を行い改善していただきたい。 ○事業番号8: 求人に関する情報提供 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した事から働きたいと思う人も増加すると思われるので引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p><総評について> あらゆる分野での女性の活躍や有能なリーダー育成のためには、様々な場面での「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」の払拭が必要である。引き続き、研修やセミナー等を通じ意識啓発に努め、数字にとらわれず能力や女性の環境問題も考慮して取り組んでいただきたい。子育て中の女性活躍にも目を向け取り組みを進めていただきたい。</p>
---------------------------------------	---

〈基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶〉

施策の基本的方向 1. 異性に対する暴力防止の対策
 施策の内容(1) 配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
9	暴力防止に関する意識啓発		4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和4年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は 107件。 ○2市1町広域連携事業において、デートDVの防止に向けた啓発チラシを作成し、寒川高校、関係団体及び成人式での配布を行った。(チラシ1,000部) ○図書館において、DVに関するパネル展示を行った。(11月8日～12月1日) ○窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、相談窓口の情報提供を行った。 ○新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。 ○今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていけるよう検討していく。 	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配布時にDV相談等に関するチラシ配布することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙等を通じてDVに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	啓発回数(回)	4	4				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
10	DV等に関する相談や関係機関との連携		12	12	12	12	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との連絡会議(2月2日)1回 ○関係機関との定期的な情報交換11回 町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など、連絡を取り合って対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。 町のDV相談受付件数:3件	A	平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れているため。	町民窓口課
	関係機関と連携しながらDV等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、DV被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数(回)	12	12				2		

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実	庁内での啓発回数(回)	1	1	1	1	課長級職員を対象に、ハラスメント防止も目的とした「アンガーマネジメント」研修を実施した。怒りの感情やネガティブな感情への向き合い方を学んだ。 研修名:「アンガーマネジメント研修」 研修日時:令和4年12月16日 参加人数:17名	A	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努め、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。		1	1				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供	啓発回数(回)	2	2	2	2	引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和4年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は120件。相談者には相談窓口の情報提供を行った。引き続き、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。 また、引き続き、新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。令和4年度配布数115枚	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。		2	2				2		

施策の基本的方向 2. 人権尊重のための対策
 施策の内容 (1) 人権侵害防止のための支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	4	4	昨年度に引き続き、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との接触を避けるため、街頭での人権啓発活動は中止となったが、産業まつりにおいて感染症対策を行いながら啓発活動を行った。	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、やむを得ず1回の実施となった。	町民窓口課
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。		0	1				2		

施策の基本的方向 3. 生涯を通じた心身の健康づくりの充実
 施策の内容(1) 男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
14	健康運動ボランティア地域活動支援		45	45	45	45	<p>①健康づくり体操の日 4/13、4/21、5/11、5/25、6/8、6/16、7/13、7/21、8/4、9/7、9/22、10/6、10/26、11/9、11/30、12/8、12/22、1/26、2/8、2/22、3/9、3/22 計22回開催。 延べ参加人数女性:381人、男性:50人参加</p> <p>②出前講座 老人ホームファミリーユ湘南での健康体操:年12回、延べ参加人数120人(男女内訳なし)その他地域サロン、シニアクラブ等からの依頼:6件。健康体操、夏休みのラジオ体操)延べ参加人数:749人(男女内訳なし)</p> <p>③町事業等での協力 6/4子どもまつり、6/12食育ひろば、9/4音楽ひろば、10/10レクリエーションフェスティバル、10/12J.comよりご当地体操紹介生放送計5件</p> <p>事業課題 健康づくり体操の日に関して男性の参加率が低い結果となった。</p>	A	健康運動ボランティアによる地域支援活動は、コロナ感染対策を実施しながら目標値を達成することができたため。男性参加者が増えるよう男性にも興味のある内容等を検討する。	健康づくり課
	地域の実情やライフステージに合わせた健康づくりとして、町民が自主的に健康づくりや生活習慣病予防や健康維持・増進に取り組む機会の場を提供することで、健康づくりにおいて重要な要素となる町民のつながりの維持を図ります。	健康運動ボランティア地域活動実施回数(回)						0		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
15	公民館講座（健康づくり講座）の開催		3	3	3	3	<p>【町民センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●からだにやさしい体操教室、9/28、13人参加 <p>【北部公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●春の鎌倉、歴史にふれるハイキング4/2、14人参加 ●ちょっと健康タイム7/10、11人参加 ●寒川歴史散歩11/26、5人参加 ●秋の鎌倉ハイキング11/29、7人参加 ●バドミントン教室10/1～11/26(6回)延べ38人 ●シニアクラス・ニュースポーツを楽しむ7/10、9人参加 <p>【南部公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シニアクラス・カラダと健康2/22、7人参加 ●セルフ腸もみダイエット4/25、5/23、延べ16人参加 ●血液循環簡単マッサージ講座11/18、11/25、延べ11人 	A	計画どおり、公民館事業で健康に関する講座として多くの機会を提供することができた。	教育政策課
	公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。		8	17						

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
16	新成人への健康教育の実施		1	1	1	1	令和5年1月9日実施、450部パンフレットの配布を行う。	A	4年度内容の更新・興味を持ってもらえるような工夫をして作成し配布できたため。子宮頸がんを男性からも問題視できるような啓発をしていく。	健康づくり課
	新成人へのパンフレット配布による健康教育を実施します。	小冊子の配布回数(回)	0	1			パンフレットの内容を更新し、栄養、喫煙・アルコールの影響や、男性にもかかわりがある子宮頸がんについてわかりやすく周知するためのよい機会になっている。しかし、20歳代の子宮がん検診受診者数の伸びにつなげている。	1		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
17	豊かな心・文化育成事業		10	10	10	10	町内小・中学校において、新学習指導要領に基づいて、保健体育科や特別の教科 道徳科などの各教科、総合的な学習の時間等を通じて、性に関する内容を取り扱い、適切に指導を図った。 性教育に関しては、正確な理解を通して適切な行動に結びつくことから、今後も子どもの発達段階に応じて、教育活動の機会を捉えて適宜指導することが必要である。 また、発達段階に応じてLGBTQIについて正しい認識をもち、「多様な性」について理解する必要がある。	A	町立小・中学校において、子どもたちの発達段階や実態に応じて性教育に関する指導を行った。特にデリケートな内容については、男女を分けて指導したり、養護教諭等と連携して対応したりすることにより、個の事情に応じた指導につなげている。	学校教育課
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。	性教育実施時間数(時間)	10	10				2		

【基本目標Ⅱ】男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶

<各事業について>

○事業番号9: 暴力防止に関する意識啓発

・DV相談窓口周知のため、様々な媒体や場面を活用していることは評価できます。引き続き、必要な方に情報が届くよう周知に努めていただきたいと思います。

○事業番号10: DV等に関する相談や関係機関との連携

・DV等被害者の支援については、緊急性・迅速性が重要となり、かつ支援対象者と支援者の安全を確保しながら相談等の適切な対応を行うことが求められます。そのため、いつ生じるかわからない相談等にしっかりと対応できるよう、行政機関の他、連携すべき関係機関と定期的な情報交換の際に、お互いの役割等について共通認識を図っておくことが重要かと感じます。

・DVの相談に対して、関係機関と連携しながら対応していることは、とても重要で評価できる。

・窓口や電話で相談できない家庭についても、必要関係機関と連携しながら情報を収集しサポートできる体制が必要である。

・緊急性が求められる相談事例もありますので、関係機関において、密に連携し、必要な支援に繋げていただきたいと思います。

○事業番号11: 町役場における各種ハラスメント防止体制の充実

・役場内の課長級職員に対してのアンガーマネジメント研修が実施されたとのこと。言葉の暴力であったり、人権侵害にあたる発言がないよう徹底していただきたい。

・近年、ハラスメント問題は注目されていることだと思います。怒りの管理方法として、アンガーマネジメント研修を町として研修をしていただけたことに関して、感謝いたします。怒っている方も、感情のコントロールが上手くできない方も多々いるかと思っておりますので、このような研修会を今後も継続していただきたいと思いますが、怒られている方にも私は問題があるかとも思います。日本は、弱者救済が美学と勘違いしている傾向があるかと思えます。一番大切な事柄は、私はコミュニケーションだと思います。お互いに思いやりをもって、お互いに尊重する心をもつことが重要でないかと思えます。アンガーマネジメント研修もしつつ、被害妄想をなくすような研修があれば、おこなっていただけますと嬉しく思います。愛情のある怒りに関して、反発する方は少ないです。怒っている方も、怒られている方も、皆が愛情をもって接していただき、皆笑顔になったら嬉しく思います。

○事業番号14: 健康運動ボランティア地域活動支援

現在、29名のボランティアが活動されていて男性6名、女性23名と説明を受けました。高齢者が多くなっても、健康運動ボランティアとして活動されることにより、健康寿命を延ばすことができると考えます。健康づくり体操の日の男性の参加率が低い結果となっているようですが、ボランティアに男性が多く参加されていることを評価します。

○事業番号17: 豊かな心・文化育成事業

・町内小中学校における性教育の取り扱い、指導に関しては、とても重要なことだと捉えます。性教育に関して正確な理解を得られるよう、今後も引き続き指導していくことが求められると考えます。

・デリケートな内容については、男女を分けた指導とありましたが、発達段階に応じては「男女ともに」一人の人間として捉え、お互いを尊重しあえる場を設定した指導もあり得るのかなと考えました。

・性教育(保健体育)の重要性を訴えるリーフレットやパンフレットなど、発達段階に応じた資料を児童生徒に配布できると、各校での指導の足掛かりになるのかなと思えます。

・現場の先生方の指導はもちろん大切なことだと思いますが、専門の講師などを招聘して行うこともよいものかなと思えます。

・小、中学校各校で10時間性教育の授業をおこなっていただいた事に関して、感謝したいと思います。デリケートな話で、教える側も、受け取る側も難しいと思う中での時間かと思えますが、これからの子供たちにはとても大切な教えかと思えます。先生方も大変かと思えますが、正しい性のあり方を教えていただければ幸いです。その中でも、LGBTQは本人自身が大変な悩みかと思えます。周りで差別をしない環境になっていければ嬉しいです。先生方のご指導力に期待したいと思います。

<総評について>

・計画通り、目標達成に向け取組まれていくことを望みます。

・女性が男性にDVということもありますので、固定観念にとらわれないように進めるべき。

・DV根絶に向けての啓発に関する様々な取り組みが見えた。男女に関係なく、相談できる窓口の周知は今後も継続的に周知する必要がある。

・近年のDVは男性から女性だけではないので、男女問わず目につくように自然と情報が入手できるようになると良いと思う。

・全体的にホームページの年間の訪問数が少ないように思える。

・コロナ感染対策を取りながら、男女の心とからだの健康づくりとして、多くの講座が開催されたことは評価できる。

・異性への暴力や各種ハラスメントを防止するため、引き続き、様々な機会を捉え啓発活動を行っていただきたいと思います。また、実際に暴力等が起きてしまった場合に、被害者が一人で悩むことのないよう、相談窓口の周知や関係機関との連携強化にも引き続き努めていただきたいと思います。

・DV防止、ハラスメントを防止をして、よりよい町づくりをしようと事業内容から伺えます。コミュニケーションが増えこのような問題定義が一つでも減っていきましたら嬉しく思います。引き続き事業拡張をお願い致します。健康にも重視した事業内容も拝見いたしました。何事も元気でなければ何もできません。元気であるから、皆笑顔になると思います。これからも引き続きよろしくお願い致します。

【基本目標Ⅱ】
男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶
(個別)

<p>【基本目標Ⅱ】 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶 (事務局案)</p>	<p>＜各事業について＞</p> <p>○事業番号9:暴力防止に関する意識啓発 DV相談窓口周知のため、様々な媒体や場面を活用していることは評価できる。引き続き、必要な方に情報が届くよう周知に努めていただきたい。</p> <p>○事業番号10:DV等に関する相談や関係機関との連携 DV等被害者の支援については、緊急性がある相談も多く、迅速な対応が求められ、支援対象者と支援者の安全を確保しながら相談等の適切な対応を行うことも重要である。そのため、いつ生じるかわからない相談等にしっかりと対応できるよう、行政機関の他、連携すべき関係機関と定期的な情報交換を引き続き行い、お互いの役割等について共通認識を図っていただきたい。</p> <p>また、窓口や電話で相談できない家庭についても、関係機関と連携しながらサポートできる体制も強化していただきたい。</p> <p>○事業番号11:町役場における各種ハラスメント防止体制の充実 役場内の課長級職員に対してのアンガーマネジメント研修を引き続き行い、言葉の暴力であったり、人権侵害にあたる発言がないよう徹底していただきたい。</p> <p>また、怒りのコントロールだけでなくマイナス思考にならないような精神の安定を目的とした研修も必要かと思われる。双方が思いやりを持って接することができるコミュニケーションを目指していただきたい。</p> <p>○事業番号14:健康運動ボランティア地域活動支援 高齢者が多くなっても、健康運動ボランティアとして活動されることにより、健康寿命を延ばすことができると考える。健康づくり体操の日の男性の参加率が低い結果となっているが、現在のボランティア数は29名(男性6名、女性23名)であり、男性が多く参加していることは評価できる。</p> <p>○事業番号17:豊かな心・文化育成事業 町内小中学校における性教育の取り扱い、指導に関しては、とても重要なことであるため、発達段階に応じた資料提供や、専門の講師なども検討し、性教育に関して正確な理解を得られるよう、今後も引き続き指導していくことが求められると考える。また、デリケートな内容については、男女を分けた指導とあるが、発達段階に応じては「男女ともに」一人の人間として捉え、お互いを尊重しあえる場を設定した指導も検討していただきたい。LGBTQは本人自身が抱える大きな悩みであることが多いため、周りに差別等が起きない環境づくりを徹底していただきたい。</p> <p>＜総評について＞</p> <p>近年のDVは男性から女性だけではないため、男女問わず目につくように自然と情報が入手できるようにするなど固定観念にとらわれず事業を進めていただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染対策を取りながら、男女の心とからだの健康づくりとして、多くの講座が開催されるなどDV根絶に向け様々な取り組みがうかがえた。男女関係なく相談できる窓口の周知を継続し、関係機関との連携の強化にも努めていただきたい。事業等の周知に関しては、事業全体的にホームページの年間の訪問者数が少ないため、様々な周知手段を検討していただきたい。</p>
--	---

〈基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり〉

施策の基本的方向 1. 誰もが働きやすい就業環境づくり

施策の内容（1）ワーク・ライフ・バランスについての理解促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
18	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	広報等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からのチラシ・パンフレットを町内事業所に対して配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3	3				2		

施策の内容（2）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
19	労働相談に関する情報提供		3	3	3	3	県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町HP情報提供を行った。	A	HPによる周知やチラシの配架により情報提供を行った。 次年度以降も、必要な情報を精査した上で、HP等に掲載をしていく。	産業振興課
	広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページ等での情報提供回数(回)	6	5				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
20	労働講座の開催		1	1	1	1	労政問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時: 令和5年2月13日(月)18:30~20:00 場所: 町民センター テーマ: 会社周辺の自然災害等のリスクについて 講師: 寒川町町民安全課職員 参加者数: 38名	A	労政問題懇話会と連携し、労働講座を開催することができたため。	産業振興課
	関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。		0	1				2		

施策の内容(3) 育児・介護に関する制度の理解と普及の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
21	育児休業取得の促進		100	100	100	100	配偶者が出産した男性職員: 5名 育児休業を取得した男性職員: 4名(取得日数: 196日、30日、19日、60日) なお、配偶者が出産した男性職員5名の特別休暇の取得状況は次のとおり。 出産付添いの特別休暇(3日以内): 5名(各2~3日) 育児参加のための休暇(5日以内): 4名(各1~5日)	A	対象となる職員に対して育児に伴う休暇休業について制度周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。		31	80				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
22	介護休業取得の促進		1	1	1	1	家族の介護等を行う職員からの制度等の相談について制度周知を図るとともに、詳細について説明を行っている。	A	対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに介護休業を取得しやすい環境を整備し、介護への支援を図ります。	庁内での啓発回数(回)	1	1				2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発(再掲)		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。また県の働き方改革に係るセミナーの後援をした。	A	広報等による周知や後援をすることで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からチラシ・パンフレットを町内事業所に対し配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3	3				2		

施策の基本的方向 2. 仕事と家庭・地域活動との両立の支援
 施策の内容(1) 子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
24	保育環境充実事業		120	120	120	120	認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対して助成を行った。 既存の施設の大規模改修に対して国庫補助金を活用し補助金を交付することにより、保育環境を整えることができた。 令和5年4月開園予定の小規模保育事業の施設改修工事等に対して国庫補助金を活用し補助金を交付することにより、小規模保育施設開所に向けて事業者に対して支援ができた。次年度の定員の増に繋げることができた。	B	既存の認可保育所が面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、定員以上の受入をしている。保育の必要性のある児童を認可保育所等において保育することで保護者の就労支援を行うことができた。	子育て支援課 (令和5年度から保育幼稚園課に移管)
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実に努めます。	定員に対する入所率(%)	101	107				2		
25	子育て支援相談事業		100	100	100	100	相談日：月から金 9:00～16:00 相談件数 667件 課題等：育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。	A	他機関との連携を含む継続フォローや支援等、悩みを抱える子育て家庭へのサポートを行い、養育者の負担軽減を図った。 相談に対しては、全数対応できた。	子育て支援課
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。	相談への対応率(%)	100	100				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
26	児童クラブ運営事業		270	301	309	315	開所日288日 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するため寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。	B	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図ることができた。	学び推進課
	保護者が労働等により放課後等家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。	入所児童数 (人)	247	266				2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
27	ひとり親家庭等医療費助成事業		100	100	100	100	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 R4助成対象者数:773人 (参考) 児童扶養手当非受給世帯及び人数 H29:29世帯(85人) H30:23世帯(56人) R1 :21世帯(49人) R2 :17世帯(38人) R3 :17世帯(39人) R4 :18世帯(40人)	A	離婚や死亡、転入転居等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースがあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	子育て支援課
	ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限有り)。	助成率 (%)	100	100				2		

施策の内容(2) 男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
28	父親・母親教室の開催		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。 延べ妊婦148人 夫77人参加。 各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ87.5%であった。 参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R4年度34.2%となっている。 夫(パートナー)の割合が増えているものの、参加者自体がコロナ禍で減っている。	B	感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。		94	97				2		
事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
29	母子訪問指導事業		1,000	1,000	1,000	1,000	令和3年度に引き続き、令和4年度も、通常の訪問に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団健康診査を希望されない家庭への家庭訪問など実施した。その際に、テレワーク等により在宅している夫(パートナー)と可能であれば面接指導を実施した。母子訪問合計が減少している。出生数の減少が要因と考えている。	A	母子健康手帳交付時にもイクメンテキストを配布し、父親の育児参加を促している。産後の訪問についても妊娠中や出産後に父親に直接周知することで、訪問の受け入れも良好である。訪問時には男性の育児参加への意識啓発も実施している。	子育て支援課
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。		1,443	1,317				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
30	介護教室の開催		105	105	105	105	<p>○家族介護教室 令和5年3月24日開催、12名参加(男性4名、女8名)。介護予防及び終末期について、男女問わず考えるきっかけとなるような内容が展開された。今後も取り上げるべきテーマやトピックを充分検討のうえ開催していく。</p> <p>○認知症高齢者介護教室(認知症サポーターステップアップ講座) 住民向けの講座を3回、町内の企業や団体向けの講座を6回実施し、合計160名(男性52名、女性108名)が受講した。住民向け講座の受講者は7割以上が女性であったが、町内の企業や団体向けの講座を積極的に実施したことで、男性の受講者数の増加に繋げることができた。</p>	A	<p>○家族介護教室 これまでコロナ禍において開催を見送ってきたが、講師の協力も得て感染対策を講じ開催に至ったため。</p> <p>○認知症高齢者介護教室(認知症サポーターステップアップ講座) 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことで、町内の企業や団体向けの講座を積極的に実施し、目標値を超える受講者を確保することができたため。</p>	高齢介護課
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	61	172				2		

施策の内容(3) 地域活動への参加の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
31	公民館講座(男性向け講座)の開催		3	3	3	3	対象を男性に限定した講座の実施なし	D	町民の地域活動への参加を促進するための講座等は実施しているが、参加対象者の性別は限定しない形式で開催している。	教育政策課
	公民館講座を通じて、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進します。	講座の開催回数(回)	3	0				3		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
32	ファミリーサポートセンター事業		1,720	1,690	1,680	1,660	4年度末の会員数については、おねがい会員636人、まかせて会員120人、どちらも会員122人であった。 課題等:おねがい会員数に対し、まかせて会員数が少ない。引き続きおねがい会員からまかせて会員やどちらも会員に登録していただける会員を増やしていくことや、事業内容の周知に引き続き取り組んでいく必要がある。	A	活動件数は目標値を達成した。前年度比約102%で増となった理由は、習い事への送迎、学童保育の迎え、保護者の外出などの利用が増えたことによるもの。	子育て支援課
	育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。	活動件数(件)	2,964	3,030				2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
33	生涯学習に関する情報提供		6	6	6	6	男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.さむかわ町民大学(年2回発行) 2.出前講座 3.4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介用/登録者募集用 5.さむかわ生涯学習総合案内 ○町ホームページ関連ページのページビュー数は598件	A	パンフレットや情報紙を発行し、町内各施設に配架するとともに、町ホームページにおいても掲載することで、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報提供を行うことができた。課題としては、より多くの人に情報が届くよう、学習情報の効果的な提供方法を検討していく必要がある。	学び推進課
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数(回)	6	6				2		

【基本目標Ⅲ】
仕事と生活の調和
(ワーク・ライフ・バ
ランス) 推進のための
環境づくり (個別)

【基本目標Ⅲ】仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) 推進のための環境づくり

<各事業について>

○事業番号18:ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発

・仕事と家庭の両立のためには、職場の理解が必要不可欠です。引き続き、町内事業者への制度周知、啓発等に努めていただきたいと思います。

○事業番号21:育児休業取得の促進

・男性の育児休業取得率が80%になったことは評価できます。今後は、さらなる女性活躍推進のため、引き続き取得率100%を目指すとともに、より長期間の取得が可能となるよう取組んでいただきたいと思います。

○事業番号24:保育環境充実事業

・120%が数値目標となっていますが、少々厳しいような気がします。定員以上の受け入れを目標値にするのではなく、定員の100%でも良いのではないのでしょうか。

・目標値を120%としていることが問題だと思います。入所したい人が全員入所できれば評価はAです。評価の考え方を検討してください。

・保護者の就労や、休息も設けるため今後増々拡充をしていただきたく思います。待機児童も2名まで減少していると伺いまして嬉しく思います。町民の方々が安心して子供もが作れる環境になっていくことが一番なので、今後ともよろしく願い致します。只、心配な事柄が一つあります。保育所の従業員さんの負担的な部分にも着目していかなければならないと思います。子育ては思ったよりも負担が大きく、ましてや自分の子供ではない為、心身的な負担も多いかと思えます。従業員さんの負担、心身的な負担にも着目をお願いいたします。虐待問題も負担増のストレスからではないかと私個人的には思います。

○事業番号25:子育て支援相談事業

・相談件数667件に対し、すべて対応してきたということはすごいことだと思います。今年の出生数は過去最低ペースといわれています。そんな中、育児不安を抱える家庭の相談窓口として心強い事業だと思います。

○事業番号26:児童クラブ運営事業

・保護者の就労や女性の社会進出を支援するために児童クラブがあります。他市では児童クラブに通えない児童がいる事が課題になっていますが、受け入れ可能としての目標値に達していないということは、希望された方が利用できているということでしょうか。児童クラブに行かせたいが何らかの事情により通う事ができない児童がいるのでしょうか。実態の把握を求めます。

○事業番号28:父親・母親教室の開催

・夫(パートナー)の参加が年々増加している事は評価できる。

・近年は出産直前まで働いている妊婦さんも多く、教室に参加できない方も増えている。働いている妊婦さんの家庭へのアプローチも検討を望む。

<総評について>

・仕事と家庭の両立のためには、職場の理解や地域での支えが必要不可欠です。引き続き、町内事業者への制度周知や、子育て相談及び保育環境の充実に努めていただきたいと思います。

・働きながら、生活の質が充実する企画が多く開催されている。今後も継続していただきたい。

・寒川町全体で「町内には身内がない」という家庭が多くなり、ファミサポ等の必要性が多くなっており、家族、身内で育ててきた意識の変化も支援の利用率からもわかる。学童も入所人数は少ないが実際に必要としている子どもが入れていない事も多く耳にする。数字と現実の差も気になるところである。

・今後、男女共同参画を鑑みた、男女ともに働きながらの子育てができる町づくりは、寒川町に活動的で、幅広い思考を持った若い世代の定住が望まれると思う。つまり、この基本目標が最も工夫と施策の方向性によって、様々な成果の出るものと考え。町内各部署が別々に考えるのではなく、ぜひ町が一つになって横断的な考えをもって、町づくりの柱になっていくと良いのではないか。

・子育て世代の夫婦共働きが増加していることから、町民および町内で安心して働けるように保育園並びに学童保育施設の充実(単なる枠を増やすのではなく、必要な方が利用しやすい設備や環境の整備)を検討していただきたい。

・保育園および学童で働く人への待遇改善を検討していただきたい。

・子育て世代が子どもと共に利用しやすい施設・環境作りを検討していただきたい。(例えば:大きなコミュニティホール、コンサートホール、農業体験場、BBQ施設)

・中高年世代には、文化的体験施設やゆっくりできるcafeなどを検討していただきたい。

・子育て保育は必ずA評価をだしてほしい。

・各事業において計画通り、目標達成に向け取組まれていくことを望みます。

・仕事と生活の調和とのことで、労働講座や介護も含め、特に子育て関係に勢力をかけていますことが伺えます。さむかわ町民大学など、私も知らなかったのですが、人生いつでも学ぼうと思えば学べる場があることは、感激しました。ハード面だけではなく、中身にも注力していただいていることに感謝致します。今後とも継続事業の程、宜しく願い致します。

<p>【基本目標Ⅲ】 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バ ランス) 推進のための 環境づくり (事務局案)</p>	<p><各事業について> ○事業番号18:ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発 仕事と家庭の両立のためには、職場の理解が必要不可欠であるため、引き続き、町内事業者への制度周知、啓発等に努めていただきたい。 ○事業番号21:育児休業取得の促進 男性の育児休業取得率が80%になったことは評価できる。今後は、さらなる女性活躍推進のため、引き続き取得率100%を目指すとともに、より長期間の取得が可能となるよう取り組んでいただきたい。 ○事業番号24:保育環境充実事業 120%が数値目標となっているが、厳しい目標値となっていると思われる、定員以上の受け入れを目標値にするのではなく、定員の100%、もしくは待機児童が0名であれば評価もAであるため、評価の考え方を見直していただきたい。 また、保育所の従業員の負担も考慮し心身の健康を重視していただきたい。 ○事業番号25:子育て支援相談事業 今年の出生数は過去最低ペースと言われており、育児不安を抱える家庭が多い中、相談件数667件に対しすべて対応してきたということは評価できる。 ○事業番号26:児童クラブ運営事業 他市では児童クラブに通えない児童がいる事が課題になっていますが、受け入れ可能としての目標値に達していないということは、希望された方が利用できているということなのか。児童クラブに行かせたいが何らかの事情により通う事ができない児童がいるのか。保護者の就労や女性の社会進出を推進するためにも実態の把握を求める。 ○事業番号28:父親・母親教室の開催 夫(パートナー)の参加が年々増加していることは評価できる。加えて、近年は出産直前まで働いている妊婦さんも多く教室に参加できない方も増えているため、働いている妊婦さんへのアプローチも検討していただきたい。 <総評について> 仕事と家庭の両立のためには、職場の理解や地域での支えが必要不可欠である。現状では「町内には身内がない」という家庭が多く、地域での支え(ファミサポ等)の需要も高まっている。また、共働きの子育て世代が増加していることから保育園及び学童の職員の待遇改善の検討、コミュニティーホールの設置など学童保育環境の充実を目指し、働きながら子育てができる町づくりを町が一つになって横断的な考えを持ち進めていただきたい。 働く方の生活の質が充実する企画は今後も継続していただきたい。 中高年世代には文化的体験施設やカフェなどを検討していただきたい。</p>
---	---

〈基本目標Ⅳ 男女共同参画社会への理解促進〉

施策の基本的方向 1. さまざまな場における意識づくりの推進
 施策の内容 (1) 職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値				
			実績	実績	実績	実績				
34	男女共同参画に関する講座の開催		100	100	100	100	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。 ①神奈川県・寒川町 男女共同参画推進市町村連携事業 男女共同参画特別講演会 「男女がともに輝くように」 日時：令和4年11月2日(水)～11月30日(水) YouTubeによる動画配信 参加者：141名(男性61名、女性79名、その他1名) 講師：鈴木 恵枝氏(株式会社マイキャリア・ラボ パートナー講師、株式会社マルシオン・アンサンプル代表取締役) 内容：講師からは、コミュニケーションの大切さを学びました。アサーションは、主張はしっかり行うものの、相手は傷つけないという絶妙なコミュニケーション方法です。家庭も職場もコミュニケーションで円滑に進み、男女がともにイキイキと暮らせる社会になるという内容でした。参加者の皆様のアンケートの結果からは、「大変分かりやすかった」「とても参考になった」等のご意見をいただき、自由記載欄には、ほとんどのの方が有意義な機会だったと感想をいただきました。令和3年度から37名増(男性35名増、女性6名増)となった。特に男性の参加者が増加したことは男女共同参画社会の実現に一歩近づくことができたと感じた。 ②市1町広域連携事業 人権・男女共同参画講演会『性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり』 日時：令和5年2月2日(木)午後1時30分～午後3時 会場：藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室 参加者47名(内訳：藤沢市29名、茅ヶ崎市12名、寒川町1名、その他4名) 講師：星野 慎二氏(特定非営利活動法人 SHIP理事長) 内容：講師からは、LGBTQに関する説明や当事者の抱える悩みや課題、パートナーシップ宣誓制度などについて話をいただいた。講演会の参加者からは、LGBTQの存在の多様性に気づき、社会の多様性を理解する機会	A	①②の出席者数の合が、188人であったため。 男女共同参画白書(令和4年版)によると、コロナ下において、日本における男女共同参画が進んでいなかったことが改めて顕在化した。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、さまざまな政策や制度等が、依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままとなっていることが指摘されている。 人生100年時代を迎え、日本の家族と人々の人生の姿が多様化し、昭和の時代から一変しているなかで、男女共同参画を進めるにあたっては、このことを念頭において、誰一人取り残さない社会の実現を目指すとともに、幅広い分野で制度・政策を点検し、見直していく必要がある、と報告されている。 男女間の働き方等の慣行、人々の意識が依然として変わっていないなかで、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	135	188						

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
35	人権教育推進事業		2	2	2	2	【町民センター】 ●平和講座、8/27、7人参加 【南部公民館】 ●自治会文書が語る戦時下の暮らし、8/7、15人参加 【総合図書館】 ●バリアフリー映画会、11/13、7人参加	A	計画どおり、人権に関わるテーマとした講座を公民館、図書館事業として提供することができた。	教育政策課
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数(回)	2	3				2		

施策の内容(2) 家庭における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
36	父親・母親教室の開催(再掲)		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。 延べ妊婦148人 夫77人参加。 各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ87.5%であった。 参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R4年度34.2%となっている。 夫(パートナー)の割合が増えているものの、参加者自体がコロナ禍で減っている。	B	感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度(%)	94	97				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現 状 と 課 題 (令和4年度)	評価	評 価 の 理 由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指 標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
37	家庭教育講座等開催事業		4	4	4	4	【町民センター】 ●子ども映画会、4/16、6/11、延べ49人 ●親子で楽しく学ぶ恐竜の話、11/12、38人 ●星空観察会、1/28、27人 ●親子工作教室、1/29、26人 ●ママとベビーのふれあい体操、11/24、11/28、延べ14人 ●みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、12/3、300人 【北部公民館】 ●おはなし図書館4～3月(10回)、延べ73人 ●親子でホタル観察会、5/29、37人 ●北部ハロウィン、10/29、36人 【南部公民館】 ●おはなし広場幼児4～2月(6回)、延べ68人 ●親子でクラフト教室4/8、6/24、10/14、12/9、延べ56人 ●親子でミニリミック体験、8/5、2/6、延べ26人 ●親子でリミック教室、10/31、11/7、延べ56人 ●クリスマス広場、12/18、49人 【総合図書館】 ●おひざにだっこのおはなし会、4～3月(22回)、139人 ●出張わらべうた会、6/23、10/6、2/9、延べ32組	A	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供することができた。	教育政策課
	家庭教育講座等を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数(回)						5		

施策の内容（3）学校等における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
38	教職員の資質向上事業		230	230	230	230	教職員研修会(5/18,7/26,8/18,8/29(全4回,192名)及び教育講演会(7/21 54名)において、人権感覚や男女共同参画に配慮した授業づくりや教育課題に向けての研修を行い、教職員の意識を高めた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、オンラインでも教職員研修会を開催した。 ・研修会・教育講演会参加男女比 21:20	A	充実した研修会、講演会を行うことができた。地域と共に学校を考えるコミュニティスクールやがん教育など、社会や教職員のニーズに沿った視点を今後も研修に取り入れ、教職員の意識向上等を目指した研修を行う必要がある。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権を配慮した教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数(人)	56	246				2		
39	中学生人権作文コンテストの実施		150	150	150	150	人権作文コンテストについては、夏休みの宿題で選択制となっている。そのため、増減数については予想することが難しいが、令和4年度に募集を行った結果、295名(前年度の約3倍)の応募があった。	A	目標の約2倍の数の応募があったため。中学生人権作文コンテストは、次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めることに寄与できたと考えられる。	町民窓口課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数(人)	99	295				2		

【基本目標Ⅳ】
男女共同参画社会への
理解促進（個別）

【基本目標Ⅳ】男女共同参画社会への理解促進

<各事業について>

○事業番号31:公民館講座(男性向け講座)の開催

・性別を限定せず実施しているため実績なしとのことですが、内容が男性の地域活動に参加する意識づけを促進するもので、実際に男性の参加もあれば、実績としてカウントしても良いかと思えます。

○事業番号34:「男女共同参画に関する講座の開催」

・男女共同参画社会促進の講演会について男女にこだわらない工夫により、多くの方が参加されたことは評価したい。YouTubeの配信により若い世代のアプローチにもなっている。

・色々な講座を開催することは大変ですが、町民の理解がより深まる講座をお願いいたします。

・神奈川県、寒川町、藤沢市、茅ヶ崎市との連携した講座は素晴らしいと思います。時代の変化にも対応した、YouTube(一方向)動画配信も素晴らしく、講義議題に関しても、コミュニケーションの大切さを重視した内容で講義で盛り上がったのではと思います。その中でも、LGBTQの誤解や思い込み等にも触れていたただけの事にも嬉しく思います。全てに於いて、一番大切な事柄は、全てコミュニケーションだと私は思います。コミュニケーションが不足致しますと、勝手な思い込みや、勝手な解釈が生まれその結果DVやハラスメントにも繋がると思えます。LGBTQもその一例だと思います。話をしっかりとすれば、皆バカではないので、大半は理解できると思えます。それには、コミュニケーションをとる際に、話す側、聞く側の姿勢も大切なことだと思います。勿論、人を傷つけない話し方も重要です。コミュニケーションの取り方を重視するセミナーや、研修会、コミ場等増えることにより、幾つかの問題定義件数が、多少減少するのではと思います。今後も、引き続きコミュニケーションの大切さを教えていただけるセミナー等をよろしくお願い致します。講座参加人数も目標値を多く上回り嬉しく思います。

○事業番号36:父親・母親教室の開催

妊婦148人に対し夫77人参加は、嬉しく思いました。妊娠に関しては、女性だけの問題ではなく、男性にも大きく責任のある話だと思います。正直私の時代はそんな感じではなかった為、反省の一言ですが、今後子育てをして行く中で、パートナー2人でのセミナーの参加は素晴らしく思います。何よりもスタート地点ですので大切です。しかも、パートナーでの参加が年々増えていることも嬉しく思います。そんな素晴らしい夫婦から生まれてくる子供は、きっと幸せだと思います。今後も、女性だけに負担がかからないセミナーや、男性が妊婦さんを思いやり、パートナーを大切にしたいくなるような勉強会、セミナーや勉強会を、引き続きよろしくお願い致します。

○事業番号37:家庭教育講座等開催事業

・目標値を大幅に上回る実績であり評価できます。計画期間内でも目標値を大きく上回っている場合には、上方修正することが望ましいと思います。

○事業番号38:教職員の資質向上事業

・教職員の資質向上を目的とした研修会や講演会等は、教職員の意識を高めるためにもとても大切なことだと思います。オンラインの研修等も含めて、今後も充実した研修会を開催してほしいと思います。

<総評について>

・各事業において、計画通り、目標達成に向け取り組まれていくことを望みます。

・このまま、継続していただければと存じます。

・コロナ禍の中で感染防止対策をとりながら多くの活動をされていることに感心しました。SNSなどだけでは伝わらない、伝えられないこともありますので、紙ベースのものも上手に活用して様々な人へお知らせできれば良いと思います。例えば二次元コードを活用すれば手軽に申込等できるかなと思います。

・コロナ禍においても、YouTubeでの動画配信やオンライン研修の開催などにより、目標を上回っている事業があり評価できます。引き続き、対象者が参加しやすい環境整備に努めていただきたいと思います。

・男女共同参画への理解と意識啓発の推進の強化を望みます。

・人権教育に関しまして、権利がある前に、義務やルールがあることも伝えていただけたら嬉しく思います。家庭教育等イベントも満載で、皆様の苦勞に脱帽です。皆様、大変かと思えますが、引き続きよろしくお願い致します。

<p>【基本目標Ⅳ】 男女共同参画社会への 理解促進 (事務局案)</p>	<p><各事業について> ○事業番号31:公民館講座(男性向け講座)の開催 性別を限定せず実施しているため実績なしとのことだが、内容が男性の地域活動に参加するもので、実際に男性の参加もあれば実績とカウントしても良いのではないかと。実績値の算出について検討していただきたい。 ○事業番号34:「男女共同参画に関する講座の開催」 男女共同参画社会推進の講座について性別にこだわらない工夫により多くの方に参加いただけたことを評価する。YouTubeの配信により若い世代のアプローチにもなっていると思われるため、今後も町民の理解がより深まる講座の開催を進めていただきたい。今後LGBTQの誤解や思い込みに関する講演やコミュニケーション講座等の検討もしていただきたい。 ○事業番号36:父親・母親教室の開催 妊娠は女性だけの問題ではなく男性にも大きな責任があるため、妊婦148名に対し夫77名の参加は評価できる。今後も女性だけに負担がかからないセミナーや、男性側が妊婦さんを思いやり、大切にできるようなセミナー等の開催を続けていただきたい。 ○事業番号37:家庭教育講座等開催事業 目標値を大幅に上回る実績を評価する。計画期間内でも目標値を大きく上回る場合には、上方修正を検討していただきたい。 ○事業番号38:教職員の資質向上事業 教職員の資質向上を目的とした研修会や講演会等は、教職員の意識を高めるためにもとても大切なことであるため、オンラインの研修等も含め充実した研修会を開催していただきたい。 <総評について> コロナ禍の中で感染症対策を取りながらの活動の実施、YouTubeでのオンライン研修の開催など、目標を上回る結果となっており評価できる。今後も事業を継続し、さらなる集客を求め紙ベースでの周知や、二次元コードの利用など工夫をしていただきたい。引き続き、参加しやすい環境整備に努め、男女共同参画への理解と意識啓発の推進の強化を目指していただきたい。</p>
---	--